

北海道 ITS 推進フォーラム 会報



NO. 14

CONTENTS

- P1 【活動報告】 平成 18 年度定期総会開催報告
- P2 【活動報告】 平成 18 年度定期総会開催報告
- P3 【活動報告】 北海道 ITS 推進フォーラム講演会開催報告
- P4 【お知らせ】

活動報告：平成 18 年度定期総会開催報告

さる平成 18 年 5 月 30 日（火）札幌市教育文化会館におきまして、北海道 ITS 推進フォーラム平成 18 年度定期総会が開催されました。当日は 48 会員（委任 22 含む）の参加により総会は開始されました。

議事の進行に先立ち、山本会長からご挨拶をいただき、続いて規約に則り山本会長を議長に選出し、議事が進められました。

第 1 号議案「平成 17 年事業報告」について、事務局からの報告後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 2 号議案「平成 17 年度会計報告」について、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 3 号議案「平成 18 年度役員および幹事」について、事務局より提案内容を説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 4 号議案「平成 18 年度事業計画（案）」について、事務局より提案内容を説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 5 号議案「平成 18 年度予算（案）」について、事務局より提案内容を説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。

以上で予定されていた議案は全て終え、総会は終了いたしました。総会の運営にあたり会員の皆様に多大なるご協力をいただきましたことについて、事務局よりあらためてお礼申し上げます。（以上、報告：事務局 藤井）



（上写真）平成 18 年度定期総会の様子

■定期総会

日時：平成 18 年 5 月 30 日（火）14 時～14 時 30 分
場所：札幌市教育文化会館 講堂
（札幌市中央区北 1 条西 13 丁目）

■平成 18 年度会員（平成 18 年 5 月 30 日現在）

一般会員：51 会員
個人会員：9 会員
特別会員：17 会員

■平成 18 年度役員構成（平成 18 年 5 月 30 日現在）

会長：山本 強（北海道大学大学院情報科学研究科教授）
副会長：山口 登美男（北海道開発局建設部道路計画課長）
佐々木 朗（北海道建設部土木局道路課長）
谷田 久二男（札幌市建設局土木部道路課計画担当課長）
熊谷 宏之（財団法人北海道道路管理技術センター常務理事）
岡田 正之（株式会社ドーコン交通部長）
田中 正稔（株式会社シー・イー・サービス副社長）
監事：小笠原 章（独立行政法人土木研究所寒地土木研究所 寒地道路研究グループ長）
原文宏（社団法人北海道開発技術センター理事）
石本 敬志（財団法人日本気象協会北海道支社参与）
（以上、敬称略）

■平成 18 年度幹事構成（平成 18 年 5 月 30 日現在）

幹事長：加治屋安彦（（独）土木研究所寒地土木研究所）
幹事：村上 睦（北海道開発局建設部道路計画課）
木村 彰宏（北海道建設部土木局道路課）
石川 裕（札幌市建設局管理部雪対策室）
山形 文孝（札幌市建設局土木部道路課）
西村 誠一（（財）北海道道路管理技術センター）
松田 泰明（（独）土木研究所寒地土木研究所）
内藤 利幸（株式会社ドーコン）
正岡 久明（株式会社シー・イー・サービス）
滝谷 克幸（（財）日本気象協会北海道支社）
伊藤 信之（（社）北海道開発技術センター）
長谷川一義（株式会社社長大）
金村 直俊（札幌総合情報センター株式会社）
（以上、敬称略）

■平成 17 年度事業報告

1. 啓発・普及事業

1) 講演会開催（2 回）

- ア) 北海道 ITS 推進フォーラム講演会（第 1 回）
平成 17 年 6 月 1 日（水）、参加者：79 名
札幌市教育文化会館 講堂
- イ) 北海道 ITS 推進フォーラム講演会（第 2 回）
平成 17 年 12 月 1 日（木）、参加者：141 名
稚内全日空ホテル 鳳の間

2) ホームページの運用

2. 会員サービス事業

1) 定期総会開催

平成 17 年 6 月 1 日（水）
札幌市教育文化会館 講堂

2) 会報発行

第 12 号（平成 17 年 6 月）、第 13 号（平成 18 年 5 月）

3. 調査・研究事業

- 1) 産学官民連携による地域 ITS 推進研究会の開催
 - 第1回 平成17年7月27日(水) 参加者24名
 - 第2回 平成17年10月21日(金) 参加者18名
 - 第3回 平成17年12月26日(月) 参加者17名
 - 第4回 平成18年2月15日(水) 参加者27名
- 2) 寒地 ITS ワークショップの開催
平成17年8月30日(火)
札幌コンベンションセンター 107・108 会議室
- 3) 北海道の ITS に関するアンケート調査の実施
(平成16年度からの継続事業)
実施期間:平成17年1月12日~8月24日
寒地 ITS ワークショップにおいて集計結果資料を配布
フォーラムホームページ上で集計結果公開中
(http://www.hokkaido-its.jp/Q/q_result.html)

4. 協力・推進事業

- 1) ITS 情報通信システム推進会議との意見交換
平成17年9月16日(金)10時~12時
札幌総合情報センター(株) 会議室にて
- 2) ITS Japan ニュース 10月号に「北海道 ITS 推進フォーラムの ITS 取り組み」と題して記事掲載
- 3) NPO 法人 ITS Japan に特別会員として入会
- 4) ITS に関するニーズ・先端技術調査への対応
平成17年12月13日(火)11時~12時
(独)北海道開発土木研究所 会議室にて

■平成17年度会計報告

1. 収入(単位:円)

科目	決算額	備考
1. 前年度繰越	822,919	
2. 会費	558,000	
3. 雑収入	7	預金利息
合計	1,380,926	

2. 支出(単位:円)

科目	決算額	備考
1. 事業費	709,559	
(1)啓発普及	521,868	講演会等
(2)会員サービス	71,531	総会開催
(3)調査研究	116,160	講師謝金他
(4)協力推進	0	
2. 管理費	11,194	通信印刷費等
3. 諸雑費	4,200	送金手数料
合計	724,953	
残高	655,973	次年度繰越

■平成18年度事業計画

1. 啓発・普及事業

- 1) 講演会の開催
 - ・札幌市内で2回程度開催予定
 - (第1回)総会開催時
テーマ「ITSに関する最近の研究や施策について」
 - (第2回)平成18年11月頃
- 2) ホームページの運用

2. 会員サービス事業

- 1) 定期総会開催(1回)
- 2) 会報の作成及び発行(2回、14号[平成18年6月]・15号[平成19年1月]を予定)

3. 調査研究事業

- 1) 地域 ITS 推進研究会の開催
(開催回数)3回程度/年
(開催場所)札幌市内(予定)
(テーマ)冬道、防災、観光に関連する技術や施策など
(開催結果)会報およびホームページ上で報告
- 2) ITS に関するワークショップの開催(土木研究所寒地土木研究所との共催事業)
(開催回数)1回/年
(開催場所)札幌市内(予定)
(内容)会員からの研究発表の公募と発表、議論
(開催時期)
公募7月頃、ワークショップ開催・発表9月頃(予定)
(テーマ)冬道、観光、IT技術、情報提供など
(開催結果)資料に取り纏め配布

4. 協力・推進事業

- 1) 関連講演会・会議等への後援や協賛
- 2) 地域 ITS 推進団体連絡会への参加
- 3) 土木学会実践的 ITS 北海道プロジェクトへの協力支援

■平成18年度予算

1. 収入(単位:円)

科目	予算額	備考
1. 前年度繰越	655,973	
2. 会費	630,000	
3. 雑収入	30,005	協賛金、預金利息等
合計	1,315,978	

2. 支出(単位:円)

科目	予算額	備考
1. 事業費	810,000	
(1)啓発普及	450,000	講演会開催他
(2)会員サービス	80,000	総会開催他
(3)調査研究	200,000	研究会開催他
(4)協力推進	80,000	地域 ITS 連絡会参加
2. 管理費	115,000	通信印刷費他
3. 諸雑費	5,000	送金手数料
4. 予備費	385,978	
合計	1,315,978	

■北海道 ITS 推進フォーラム講演会開催報告

さる5月30日(火)札幌市教育文化会館講堂におきまして、当フォーラム主催により講演会を開催いたしました。講演会にはフォーラム会員を含め76名の方にご参加いただきました。講演会の内容は以下のとおりです。

日時：

平成18年5月30日(火)15時00分～17時00分

場所：

札幌市教育文化会館 講堂
(札幌市中央区北1条西13丁目)

演題：

講演1)「タクシープローブ調査とその活用について」

講師：(独)土木研究所寒地土木研究所
寒地道路研究グループ 寒地交通チーム
総括主任研究員 高橋 尚人 氏

講演2)「携帯で手軽に始められるプローブパーソン調査」

講師：交通工学研究会プローブパーソンデータ研究グループ
(北海道開発技術センター 調査研究部)
主任研究員 伊藤 信之 氏

講演3)「ITS サービス導入シナリオ策定に関する調査研究」

講師：特定非営利活動法人 ITS Japan 企画グループ
担当部長 榊原 雅博 氏

内容：

まず、(独)土木研究所寒地土木研究所 寒地道路研究グループの高橋様から、「タクシープローブ調査とその活用について」と題して、ご講演頂きました。

プローブ調査とは、GPS等の機器を搭載したプローブカーを走行させて定期的に位置情報を取得し、旅行速度等を把握する手法ですが、本講演では、札幌市内に拠点をおくタクシー会社の協力を得てタクシー115台で計測した位置情報をプローブカーデータとして活用した取り組みについて紹介されました。タクシー会社の協力を得ることで昼夜を問わず、また幹線道路に限らず様々な道路を走行して、豊富なデータを

取得・蓄積することができ、また調査経費の低廉化も図れたとのことでした。そして、各走行車両から5秒間隔で取得した走行データを分析することで、札幌市内の降雪状況や気温及び除排雪進捗と旅行速度の関連を把握できた事例や、平和大橋供用前後の旅行速度の分析から、交通インフラの整備による交通流の改善を検証した事例の紹介がありました。今後の課題としては、データベースの構築・強化といったデータ処理の改善や、最終的にはリアルタイム配信を目標にした情報発信のスピードアップ、GoogleEarth等を利用した表示の工夫、そして路面状況や道路交通対策の有無等のデータを活用したより高度な分析手法の確立であること、などをお話頂きました。

次に、交通工学研究会プローブパーソンデータ研究グループの伊藤様から、「携帯で手軽に始められるプローブパーソン調査」と題して、ご講演頂きました。

プローブパーソン調査は、GPS機能付き携帯電話を用いることで個人をプローブとして利用し、移動途中の位置情報をセンターに蓄積・分析することで、自動車の交通流のみならず、鉄道等の公共交通機関や徒歩も含めた移動状況を調査することができるということです。



(上写真) 伊藤様のご講演の様様

プローブパーソン調査の大きな特徴は、移動の始まりと終わりは携帯電話利用者に入力してもらい、得られた移動結果は利用者にフィードバックできること、また必要であれば調査に参加した人とメールでコミュニケーションを取ることができ、普段と異なる経路で移動したとき、その理由を質問することもできるとのことでした。また、このプローブパーソン調査は道路や橋梁などのインフラ整備の効果の計測に有効であり、例えば、道路整備により移動経路選択がどのように変化したかを個人レベルから把握可能であることの説明がありました。さらに、気象状況による旅行速度の変化の調査や、位置情報とブログ型評価を組み合わせた景観評価及び観光動向の把握、模擬避難訓練による避難行動の把握など、多岐にわたって応用可能であることが説明されました。

最後に、特定非営利活動法人 ITS Japan 企画グループの榊原様から、「ITS サービス導入シナリオ策定に関する調査研究」と題して、ご講演頂きました。

「ITS サービス導入シナリオ策定に関する調査研究」は、日本 ITS 推進会議が2004年10月に策定した「ITS 推進の指針」を受けて、ITS Japan が産学連携により、ITS に関する



(上写真) 高橋様のご講演の様様



(上写真) 榊原様のご講演の様様

ニーズ・先端技術の調査を行い、指針に基づく ITS サービスの導入シナリオとサービス・技術に関わる市場規模の検討・設定を行ったものとのことです。ITS に関するニーズ並びに最先端の技術動向の調査では、全国の学識経験者らとのディスカッションやヒアリングが行われ、北海道 ITS 推進フォーラムもヒアリングに参加しました。その結果を元に、ITS サービス導入の大まかな 4 つの方向性と 29 の対象 ITS サービスが示され、それぞれに対して 2005 年から 2020 年までの導入シナリオロードマップが説明されました。そして、そのシナリオに基づいた、車載器普及やインフラ整備に伴う市場規模予測について解説されました。今後は、ITS サービスの実現や展開に向けた積極的な取り組みが必要であること、車載器の普及率向上のためのインフラ投資が必要であること、29 の ITS サービスの具体的実行プランの策定と官民の役割分担及び連携が必要であること、をお話頂きました。

講演時間の都合もあり、ご発表時間および質疑応答について十分な時間を確保できませんでしたが、各講演の終了後は、参加者から質問もあり、ご来場の皆様には今後の ITS 技術及びサービスについて大変興味深いお話を聞いていただけたのではないかと思います。



(上写真) 講演会会場内の様様

なお、各講師のご講演資料につきましては、別途配布させていただきますので、詳細はそちらをご覧ください。もしくは、直接お問い合わせください。よろしくお願い致します。

(以上、報告：事務局 藤井)

事務局よりお知らせ

- 定期総会報告でも記載致しましたとおり、平成 18 年度事業では、会員の皆様からの研究発表の場として、地域 ITS 研究会及びワークショップを開催する予定であります。ワークショップに関するご案内は別途差し上げる予定ですが、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。
- フォーラムでは、各種連絡・お知らせ、特別会員の国・地方自治体の方からの事業や公募のご案内等をホームページや電子メールでお伝えしております。電子メールアドレスをお持ちの方で、まだ登録がお済みで無い方は、この機会にぜひメールアドレスをお知らせください。info@hokkaido-its.jp または 011-232-0048(FAX)で受付しております。ご連絡の際は、会員名と電子メールアドレスを忘れずをお願いいたします。

- 連絡先が変更になった場合は変更申込書(ホームページからダウンロードできます)をご利用の上、郵送または FAX で事務局まで送付願います。

- 年会費納入のお願い
年会費の納入をお願いいたします。なお振り込み手数料は各自でご負担願います。

(振込先) 北洋銀行札幌市役所支店 (普)3169840
北海道 ITS 推進フォーラム

- 会報第 15 号は平成 19 年 1 月発行の予定です。

編集・発行／北海道 ITS 推進フォーラム(Hokkaido ITS Forum)

<http://www.hokkaido-its.jp/>

事務局／〒060-0001

札幌市中央区北 1 条西 3 丁目 MNビル 10 階
札幌総合情報センター(株)内

●TEL 011(232)4848 ●FAX 011(232)0048

●E-mail info@hokkaido-its.jp

事務局長：蓮井 七男、事務局員：藤井 雅晴、安藤 浩司